

広島県知事の湯崎です。

これから、インフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行ることが予想されます。どちらも風邪症状と同じであり判別することは難しいものです。

そこでこのたび、風邪症状が出たときにスムーズに診療・検査を受けられるよう、新たに相談体制を整備しました。

県民の皆さまは、「風邪かな？」と思ったらまずはかかりつけ医に、もしくは相談先がわからない場合は県ホームページなどで案内している「積極ガードダイヤル」にすぐに相談をお願いします。

具体的には、風邪症状など体調が悪い時は、まずはかかりつけ医、たとえば、近くの内科や小児科などに電話でご相談ください。

現在、全市町の900を超える街のクリニックや診療所がコロナの検査に対応しています。

これは全国トップレベルの整備数です。

もし、そのクリニックで対応できない場合は診療・検査ができる医療機関を紹介してもらえます。

また、かかりつけ医がいない場合や、夜間休日の際は、「積極ガードダイヤル」へご連絡ください。

すぐに対応できる医療機関をご案内します。

ここで、実際にコロナの症状について事例をご紹介します。

37℃の発熱のみの場合や熱は無く、咳と痰だけ、または倦怠感だけ、といった軽症の場合もあるなど初期症状は様々で特に風邪に似た症状が多くなっています。

軽症の場合など医療機関を受診せずに、我慢する方もいらっしゃるかもしれませんが、家族や同僚の方へ感染したりクラスターが発生してからでは遅いです。

とにかく、「風邪かな？」と思ったらかかりつけ医か積極ガードダイヤルへ相談をお願いします。

コロナウイルスの流行により他の病気の治療や検診が先送りされている事例が少なくありません。

医療機関も感染防止対策を徹底しています。

特に持病がある方や、乳幼児健診や予防接種、がん検診、生活習慣病の検診など、重症化リスクや早期発見が重要になるものについては、必要な治療・検査をきちんと受けていただくようお願いいたします。